

多治見市長 古川雅典 様

第7次総合計画市民委員会の議論を終えて

第7次総合計画の策定において、市民委員会として9回にわたり会議を重ね、きめ細かく議論し第7次総合計画（案）に反映させることができたと考えております。

最終回の委員会では、総合計画の策定に関わったことにより、多治見市のまちづくりへの関心がより一層高まり、各委員から今後の市政への期待を膨らませる思いが述べられましたことを、委員会が閉会したことと併せて報告します。

平成27年10月14日

多治見市総合計画市民委員会  
会長 古池 嘉和

## 1 各委員による今後の市政への期待

### (1) 市政全般について

- ・ 市民と対話しながら総合計画を作り上げてきたことは、まさに「ひとの“わ”」そのものであり、誇るべき「多治見らしさ」の一つだと思います。ぜひそれをいかした市政運営を期待します。
- ・ 子どもが多治見に住むことを誇りに感じ、住み続けたいと思えるようにするため、多治見らしさを全面に出した市政運営を期待します。
- ・ 子育て期から高齢期までのライフステージを通じて、暮らしやすく、多治見のことを好きで、幸せを実感できるまちとして持続していくことを望みます。
- ・ 多治見は魅力が多いまちですが、点が線に、線が面になっていないと感じます。魅力同士をつなげ、まちの魅力をより一層高めていかれることを望みます。
- ・ 日本一の自治体を目指し、5つの政策の柱を着実に実行されることを期待します。
- ・ 政策分野が違っていても共通する課題があります。例えば結婚支援について、障がいのある人への支援を考えることも必要です。分野間をつなぎ課題解決をしていかれることを望みます。
- ・ 市民に市政の情報をあまり知られていないことを実感します。第7次総合計画に基づく事業をはじめ、市民へのPR活動を充実されることを望みます。

### (2) 産業、女性の活躍などについて

- ・ 産業界のニーズと行政の支援がかみ合っていないと感じます。市民の働く場づくりにおける産業界との連携を、より一層高めていかれることを望みます。
- ・ 女性が労働の場で活躍できるよう、多治見の女性を取り巻く労働や子育ての状況など市独自の調査を実施の上、市独自の事業展開をしていただくことを望みます。
- ・ 公民館の安定的な管理運営が継続できることを望みます。
- ・ 市民委員会に参加することで市政への関心が高まりました。今後は特に、子どもたちの市政・まちづくりへの参加機会の充実を望みます。

## 2 会議経過

	日にち	検討事項
第1回	平成27年3月10日	総合計画の基本的事項
第2回	〃 3月26日	討議課題集
第3回	〃 4月7日	討議課題集
第4回	〃 4月27日	めざすまちの将来像
第5回	〃 5月19日	基本構想の骨子
第6回	〃 6月8日	基本構想の素案
第7回	〃 6月29日	基本計画事業の素案 グループ討議
第8回	〃 7月21日	基本計画の素案
第9回	〃 9月3日	基本構想(案)と基本計画(素案)の確認